

# 学校だより1月号

平成28年1月8日  
(2016年)  
茨木市立耳原小学校  
茨木市耳原2-20-55 TEL641-1900

## 新年あけまして おめでとうございます

爽やかに、新年をお迎えのこととお慶び申し上げます。今年もどうぞよろしくお願いたします。

### 「継続は力なり！」～努力はウノをつかない～

突然ですが、10,133回と203回。これがなんの数字かわかりますか？

10,133回は、二重跳びの世界チャンピオンの記録です。203回は、世界チャンピオンがまだ小学2年生だった時につくった二重跳びの記録です。この世界チャンピオンは、鈴木勝巳(すずき かつみ)さんという方です。

鈴木さんは、小学1年生の頃は体が弱く、病気がちだったそうです。先生に勧められて始めたなわとびですが、もちろん最初はまったく跳べません。少しずつ練習を重ねて2年生の時、二重跳びで203回跳び続け、学校のなわとび大会で優勝しました。大人になってからは三重跳び、四重跳び、五重跳び、六重跳びまでできるようになりました。

鈴木さんは、跳び続ける時間でも世界記録を持っています。なんと「9時間46分1秒」です。朝、みなさんと「おはよう」のあいさつをして、お昼に給食を食べて、「さようなら」のあいさつをして、お家に帰ってもまだ跳び続けているのです。昭和55年の記録ですから、35年も破られていないことになります。手の豆がつぶれ、足の爪がはがれ、痛みとつらさ、そして苦しさで戦って手にした記録です。75歳を超えた今でも挑戦し続けておられます。

「継続は力なり」という言葉があります。小さなことでもたゆまず努力を続けていけば、やがては一つの大きなことを達成できる。または、物事を成し遂げるまであきらめずに努力し続けることが一つの力である、という意味です。みなさんは元旦に今年目標を立てたことでしょうか。無理せず、でも休むことなく小さな努力の積み重ねを大切に、自分の力を信じて目標に向けて取り組んでほしいと思います。

寒い冬です。運動すると体がポカポカしてきます。暖房の力を借りずに自分で体を温めると、心もポカポカします。どんだんなわとびに挑戦しましょう。(校長 川上 隆)

#### 12月分給食費の振替金額について

下記金額を1月12日(火)に自動振替にて集金いたします。前日までに貴口座に入金いただくようお願いいたします。

1年	2年	3年	4年	5年	6年
3520円	3520円	3680円	3680円	3840円	3840円

※ 別途10円の振替手数料がかかります。

#### ◇取りもどそう生活リズム◇

冬休みで、生活リズムがくずれている面はありませんか？

次の四つを心がけて、3学期を気持ちよくスタートしましょう！

- ① 早起きして、朝食を必ず食べよう
- ② 友だちと外で元気に遊ぼう
- ③ 帰宅後、手洗いとうがいをしよう
- ④ 夜更かしせず、早く寝よう

生活リズムを取りもどし、風邪インフルエンザに気をつけましょう。

#### 子どもは風の子プロジェクト

##### part2 が始まります！

1/18(月)～1/29(金)

1/18(月)～22(金)の25分休み(2限後)には、全校一斉5分間走を行ないます。

1/25(月)～29(金)は、「なわとび10分間」という期間になっています。お昼の20分休みも使って1日1回、トータルで10分間のなわとびにがんばりましょう。

## 1月の行事

8	木	3学期始業式
9	土	PTA 役員・運営委員会 青健協役員会
12	火	給食開始 6年二測定
13	水	5年二測定
14	木	4年二測定 6年制服採寸(15:30～17:00)
15	金	避難訓練(地震・火災)
17	日	茨木市全域防災訓練
18	月	3年二測定 児童委員会活動⑨
19	火	2年二測定
20	水	1年二測定
25	月	地域交流クラブ⑦
26	火	北中校区4校公開授業研究会 *4限授業、給食後下校(研究授業学級を除く)
29	金	新1年入学説明会

<2月の主な予定>

3日(水) 茨木市冬季研(午後カット)

10日(水) 6年生北中学校体験入学(入学説明会)

13日(土) 青健ふれあい広場(もちつき等)

16日(火) 1.2年参観懇談 19日(金) 3.4年参観懇談  
23日(火) 5.6年参観懇談

## 耳原地区防災訓練

耳原地区自主防災会主催

日時：31日(日)午前10時～正午 場所：耳原小運動場(雨天時は体育館)

17日(日)の茨木市全域防災訓練に続き「自分たちの地域は自分たちで守る」を合言葉に、地区防災訓練が行なわれます。訓練内容は、初期消火・救命訓練・応急救護・搬送訓練・煙体験・炊き出し訓練です。

防災意識を高め、災害時に助け合える地域づくりのためにも、是非ご参加ください。子どもたちにとっても貴重な体験ができると思います。

学校では15日(金)に、地震を想定した避難訓練を実施します。この日の給食は震災献立として「おにぎり・乾パン・ぶた汁・牛乳」です。ご家庭でも、災害時の避難方法や避難場所などを確認し、防災意識を高める機会にしていきたいと思います。

# 全国学力・学習状況調査の分析について

今年度の全国学力・学習状況調査を4月21日、6年生を対象に実施しました。

本校では、調査結果を分析し、教育活動の成果と課題を検証し、児童に対する指導方法や学校全体の取組みの改善等に役立ててまいります。分析結果の概要をお知らせしますので、ご家庭におかれましても、今後の家庭学習の指針として参考にしていただきますようお願いいたします。

なお、詳細につきましては本校HPの「学力・体力向上ジャンプアップ計画」をご覧ください。

## 1. 教科に関する調査結果の分析

### <国語>

国語では、正答率の全国平均が高い問題に関しては、本校でも全国平均に近い、あるいは全国平均よりも高い正答率があった。しかし、正答率の全国平均が低い問題に関しては本校では、大きく下回る正答率となっていた。特に、漢字を読む問題に関しては正答率が高いが、主語についての問題は正答率が低い。基本問題はできているが、応用問題となるとかなり正答率が低くなる傾向が考えられる。

国語全般では、全国との比較で考えた場合、昨年度よりも差が小さくなっている領域が多い。特に、一昨年度からの研究テーマである国語の「書く力」は、大きく正答率が上がっていて全国平均も大きく上回っている。研究も2年目になり成果が出てきているのではないかと考える。

無回答率については昨年度と比べても下がっている。最後まで諦めない姿勢が見られた。

### <算数>

算数A問題に関しては、他教科と比較しても全国平均に近い正答率となっている。特に、「数と計算」領域の計算問題は高い正答率となっている。しかし、計算問題でも小数点を揃える必要がある問題などでは正答率が全国と比較しても低い正答率となっている。また、角度の問題も正答率が低くなっている。

算数B問題では、理由を書く記述式の問題が全国平均よりも高くなっており、国語の「書く力」の研究の成果がここでも好影響を与えていると考えられる。

算数全体的には、全国との比較で考えた場合、昨年度よりも差が大きくなっている領域が多い。特に、B問題では差が大きくなっている。「数と計算」の領域では昨年度よりも良くなっているため、基本的な計算ができるようになっている。国語と同じく、無回答率は下がっているため、最後まであきらめない姿勢が見られた。

### <理科>

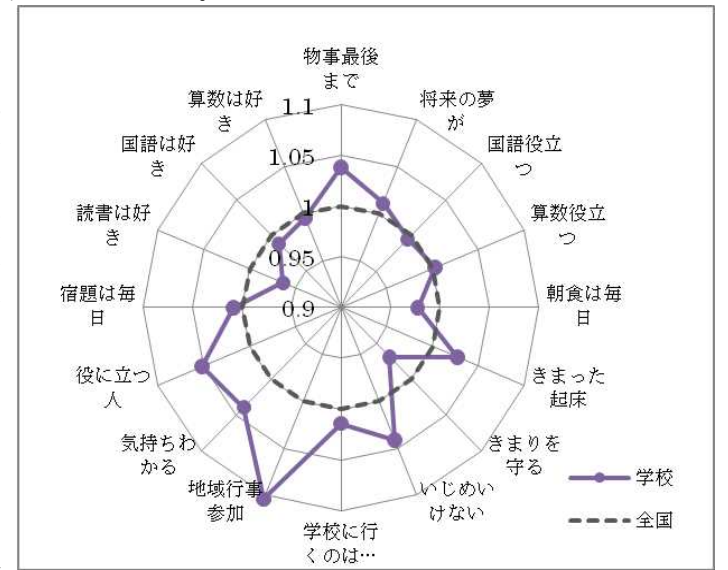
各領域で全国平均を下回る結果となった。しかし、「生命」の領域では正答率が高く、全国との差も小さい。「生命」という自分に身近な領域なので、学習が定着しやすいようである。特に、めだかに関する問題では、全国平均よりも高い正答率であった。本校では、理科室でめだかを飼育しているため、児童にとっても身近な存在だった事が正答率の高さに繋がっていると考えられる。また、磁石に関する問題や水蒸気に関する問題などでも高い正答率となっており、実験に取り組んだ問題では、正答率が高い傾向があると考えられる。

国語・算数と同じく、無回答率は下がっているため、最後まであきらめない姿勢が見られた。

## 2. 子どもたちに育みたい力の分析

将来の夢をもっている児童が少ないという課題が見られた。本年度、修学旅行の取り組みや、運動会の各役割に分かれての活動を通してたくさんの成功体験をする中で、やればできることを経験し、現在では自己肯定感を持って、諦めずに主体的に取り組むことができるようになってきた。

地域行事参加率(つながり力)は、昨年度に比べ、今年度は大幅に増加した。5年生より、大学見学や委員会、日々の学校生活の中で自主的に働き、人の役に立つ喜びを知る機会が多かったからだと考えられる。キャリア教育を昨年度より系統的に行ってきた成果が少しずつ出てきたと考えられる。今後も、引き続きキャリア教育という位置づけで、日々の生活、身近なものに関連付け自分で考えて動くことや、人の役に立つ喜びを味わえる取り組みを取り入れていくことが必要である。社会への興味・関心を高めるために、自分と社会を関連付けるきっかけを作る必要もある。



社会への興味・関心を高めるために、自分と社会を関連付けるきっかけを作る必要もある。

さらに、宿題を毎日することや授業の予習や復習をしていない子が多い結果から、日々の声かけや上記の取り組みから自己肯定感を持って意欲的に活動する習慣がついたことで、同時に学習への意欲も高まってきた。その結果、予習や復習をする子が増加し、宿題の未提出もほとんどなくなった。引き続き、子どもたちが落ち着いて学習する時間をつくるよう学校・家庭が協力して指導していくことが大切である。

